

第2回ふくしま伐木チャンピオンシップ2023 大会規定

Fukushima Logging Championships 2023 Regulation



1 大会趣旨

日本伐木チャンピオンシップに準じた伐木競技を県内で開催することで、①県内林業従事者等のチェーンソー作業技術及び安全作業意識の向上並びに交流の場と機会の創出を行う。また、②広く一般に林業及び林業従事者が活躍する姿をPRする。以上により、林業のイメージアップ、林業労働災害の防止、新規林業就業者数の拡大・定着等を目指す。

また、県内の林業従事者が自身の技術力を披露する機会とするとともに、技術力の研鑽や林業従事者の交流の場と機会を創出する。

2 開催概要

(1) 内容

伐木の技術を「安全性・正確さ・スピード」の基準で競う競技会です。

(2) ルール

日本伐木チャンピオンシップ公式ルールに準じて実施します。

(3) クラス・種目

◆ショート競技クラス (60cc 未満)

①丸太合わせ輪切り競技 ②接地丸太輪切り競技 ③枝払い競技

◆フル競技クラス (60cc 以上)

①ソーチェン着脱競技 ②丸太合わせ輪切り競技 ③接地丸太輪切り競技

⑤伐倒競技 (簡易方式) ④枝払い競技

3 開催時間等

(1) 開催時間 令和5年10月21日 (土) 午前9時45分～15時

(2) 開催場所 福島県林業研究センター敷地内 (第48回福島県林業祭会場)
住所/郡山市安積町西島坂1

4 参加申込等

(1) 参加申込

大会参加希望者は、参加申込書 (別紙) を令和5年9月29日 (金) まで福島県農林事務所 (森林林業部林業課) 又は富岡林業指導所に提出する。

(2) 参加申込の条件

「チェーンソーによる伐木等の業務にかかる特別教育」の受講を必須とする。

(3) 参加費

◆ショート競技クラス

◆フル競技クラス 3,000円/人

(参加費は、受付時に現金でお支払いください)

5 装備品等

(1) 日本の法規制を満たすチェーンソー (チェーンソーコントロールは行いませんが

エンジン、ガイドバー、ソーチェン、安全機能、その他部品等を自己点検すること。)

- (2) 競技中は、ヘルメット、イヤマフ、フェイスガード、手袋、袖や裾のしまりの良い上着、防護ズボン、防護ブーツ、救急用品を身につけること。
- (3) 審判員が競技続行不可能と判断した場合は、競技者に競技中止の勧告をする。
- (4) 主催者は選手の傷病や紛失その他の事故に関し、応急措置を除いて一切の責任を負いません。必ず傷害保険等に加入のうえ参加してください。

6 競技種目詳細

(1) 丸太合わせ輪切り競技

地面から7°に傾いた2本の丸太を垂直に上下切り出し30～80mmの厚さに輪切りする。切り出す順番は、最初に下側から半分、残りを上側からする。チェーンソーの角度を巧みに変えて、丸太を垂直にきる技術が試されます。

※ ◆ショート競技クラス →直径30cmの杉ロータリー丸太を使用する。

◆フル競技クラス →直径35cmの杉丸太(16角形面取加工)を使用する。

(2) 接地丸太輪切り競技

地面に接地している2本の丸太を上から垂直に30～80mmの厚さに切り出します。丸太の接地面を3cmの厚さのオガ屑で覆い、接地面が見えない状態で競技を行う。

※ ◆ショート競技クラス →直径30cmの杉ロータリー丸太を使用する。

◆フル競技クラス →直径35cmの杉丸太(16角形面取加工)を使用する。

(3) 枝払い競技

6mの丸太にまっすぐ差し込まれた30本の枝をスピーディーに切り落としていく難易度の高い競技です。

(4) ソーチェン着脱競技

チェーンソーからソーチェン(刃)を外し、ガイドバーの上下を入れ替えて取り付け、別のソーチェンを素早く装着します。普段のメンテナンスなどチェーンソーの構造を理解しておくこと必要になります。

(5) 伐倒競技(簡易方式)

直径35cm程度、高さ75cm程度の丸太を15m先の目標に向かって倒すための受け口、追い口を作ります。狙った場所への正確な伐倒技術、伐倒後の退避などの安全性、タイム(3分以内)が重要なポイントです。

7 その他

- (1) 天候及びその他条件等により内容を変更する場合があります。
- (2) 大会の映像、写真、記録等は、大会事務局で管理し、テレビ、新聞、雑誌、ウェブサイトなどに掲載する場合があります。

8 主催

林材業労災防止協会福島県支部、福島県林業祭実行委員会

9 事務局

福島県森林計画課 渡部、住谷 電話024-521-7426